

奈っ自慢子

子どもたちに身に付けさせたい力 文責 宮本金一朗

主体性：^{しゆたいせい} き気づく→ ^か 考える→ ^う 動く

人前力：^{ひとまえりよく} 自ら表現・他者理解・協働

たい力：^{りよく} 体力・耐力・態力 1月31日(火)

校訓
教育目標

なせばなる なさねばならぬ なにごとも ならぬは 人の なさぬなりけり
夢・実現 ~ふるさとを愛し、夢の実現に向かって努力する「奈っ自慢子」の育成を通して~

第3学期始業式

1月10日(火)、第3学期始業式を行いました。小中学生の代表がそれぞれ決意を述べた後、3学期に頑張ってもらいたいことを伝えました。

【始業式校長あいさつから】

「17日間の冬休みも終わり、3学期がスタートしました。2年半以上にわたり、今なお新型コロナウイルス感染症の感染に悩まされているところではありますが、行動制限等はすべて解除され、日常生活に戻りつつあります。まだまだ先が見通せない日々が続きますが、「自分を守る」、「家族を守る」、「地域を守る」という強い気持ちを持って、「マスクの着用」、「手洗い・うがい」、「換気」など私たちが今まで行ってきたことをこれからもしっかり行っていくようお願いいたします。

さて、3学期のスタートにあたり3点お話しします。

1つめは、あいさつです。

2学期は特に相手に気持ちを伝えることを意識してあいさつをするよう努力し、校内ではずいぶんできるようになっています。3学期は、これを校外でもできるよう頑張ってください。

2つめは基礎学力の定着です。

2学期末に「検証の日」を設定し学力の定着について検証しました。3学期は、来年進級しても困らないように、検証の結果で努力が必要なところを先生方から教えてもらって、しっかり復習してください。

3つめは「認め合い」「学び合い」「助け合い」です。

私たち人間は一人では生きていけません。必ず集団の中で生活します。そして、それには、「認め合い」「学び合い」「助け合い」が必要です。でも、一人一人みんな性格も違います。何かしようとしてもきっとみんなが同じ考えになることはないでしょう。そんなときは、みんなが協力する必要があります。自

分の考えばかりをとおしてもきっとうまくいきません。相手の気持ちや考えをまずはよく聴いて、その中で一番いい方法を考えることが大切です。でも、頭の中ではわかっていてもついつい自分の考えだけを通してしまうことはありませんか。校長先生はよくあります。そしてよく失敗します。校長先生はみなさんにはそうなってほしくないと思っっています。3学期は、ぜひ、行事や授業の中で、この「認め合い」「学び合い」「助け合い」の気持ちを強く持って活動をしてほしいと思います。」

始業式後、生活指導主任から3学期の生活について話し、特にあいさつをがんばっていくことを確認しました。



DV予防教室

12月21日(水)、「DVながさき」の悦晴美さんを講師としてお招きし、中学生を対象に「デートDV防止講習会」を行いました。「デートDV」とは、おもに恋人間で起こるDVです。生徒は「デートDV」という言葉自体を初めて知ったという人も多く、今回はその実態を知る大変良い機会となりました。男女が尊重し合う関係性のあり方について深く考えることができました！！

裏面へ



生徒会役員任命及び新旧役員引継式

12月23日（金）、新生徒会役員の任命と新旧役員引継式を行いました。役員になると中学校だけでなく、小学校や高校とも連携してさまざまな活動をしていきます。他の生徒と比べるととても忙しくなります。でも苦労した分、何物にも代えがたい達成感を味わうことができるし、本校が育成を目指す資質・能力の「つながる力」「わかる力」「えがく力」もきっと身に付くことと思います。旧役員から引き継いだ校旗を持つ生徒会長とそれを見守る新役員全員、非常にやる気に満ちた目をしていて、大変頼もしく感じました！！これからの活躍を期待しています。



音楽科公開授業

1月18日（水）、中学1年生の音楽科の授業を公開しました。仲間と協力して都節音階の特徴を生かした楽譜の創作と箏での演奏を行いました！！みんな使い慣れない楽器に苦労しながらも音色を楽しみながら立派に演奏をすることができました！！ふだん聴く楽器の音色とは違う和の奥ゆかしさを感じました！！



青少年健全育成意見発表会

1月29日（日）、五島市総合福祉センターにおいて、青少年健全育成意見発表会が開催されました。本校からは奈留地区を代表して、小学5年生の西明花莉さんが出場しました。タイトルは「小さな島の大きなちょうせん」です。「しま留学生として一人で五島に来てホームステイをすることは私にとって大きなちょうせんだったが、奈留島の方々の優しい励ましと心遣いに勇気づけられたこと」など自分の思いをありのまま正直に、そして堂々と話してくれました！！



【予測困難な未来を生き抜く子供たちに私たちができること】

3学期の始業式で子供たちに「認め合い」「学び合い」「助け合い」を大切にするよう話しました。私は、これまで、どちらかというところ「自分を鍛えてほしい」と語ってきました。もちろん、今でもその思いは変わりません。「体力」、「耐力」、「態力」をつけることは、これから大人になって社会人として生きていくための大切な力だと思うからです。しかし、子供たちと毎日接していて最近強く思うことは、個の力を伸ばす以上に他者と関わる力をもっともっと伸ばすことが必要であるということです。大人になって何か仕事をしていたら、きっと自分の力だけでは解決できないような困難もあるでしょう。そんなとき、家族や会社の同僚、上司に助けを求めることができる力、反対に同僚が悩んでいるときに自ら声をかけて手を差し伸べることができる力が必要になってきます。また、視野がせまく、任された自分の仕事のみをして、組織全体の利益のために協力できない人間はきっと社会人としての信用をなくしてしまうこともあるでしょう。奈留島の子供たちは、みんな優しくどんな仕事でも任された仕事はしっかり取り組みます。これからは、今まで以上に他者との関わりの中で、チームとして課題を成し遂げたり、困難を乗り越えたりする経験を積みさせていきたいと考えています。